

第 4 回審議会

令和3年度水道ビジョンの進捗報告

令和4年10月17日

水道総務部水道経営室



目次

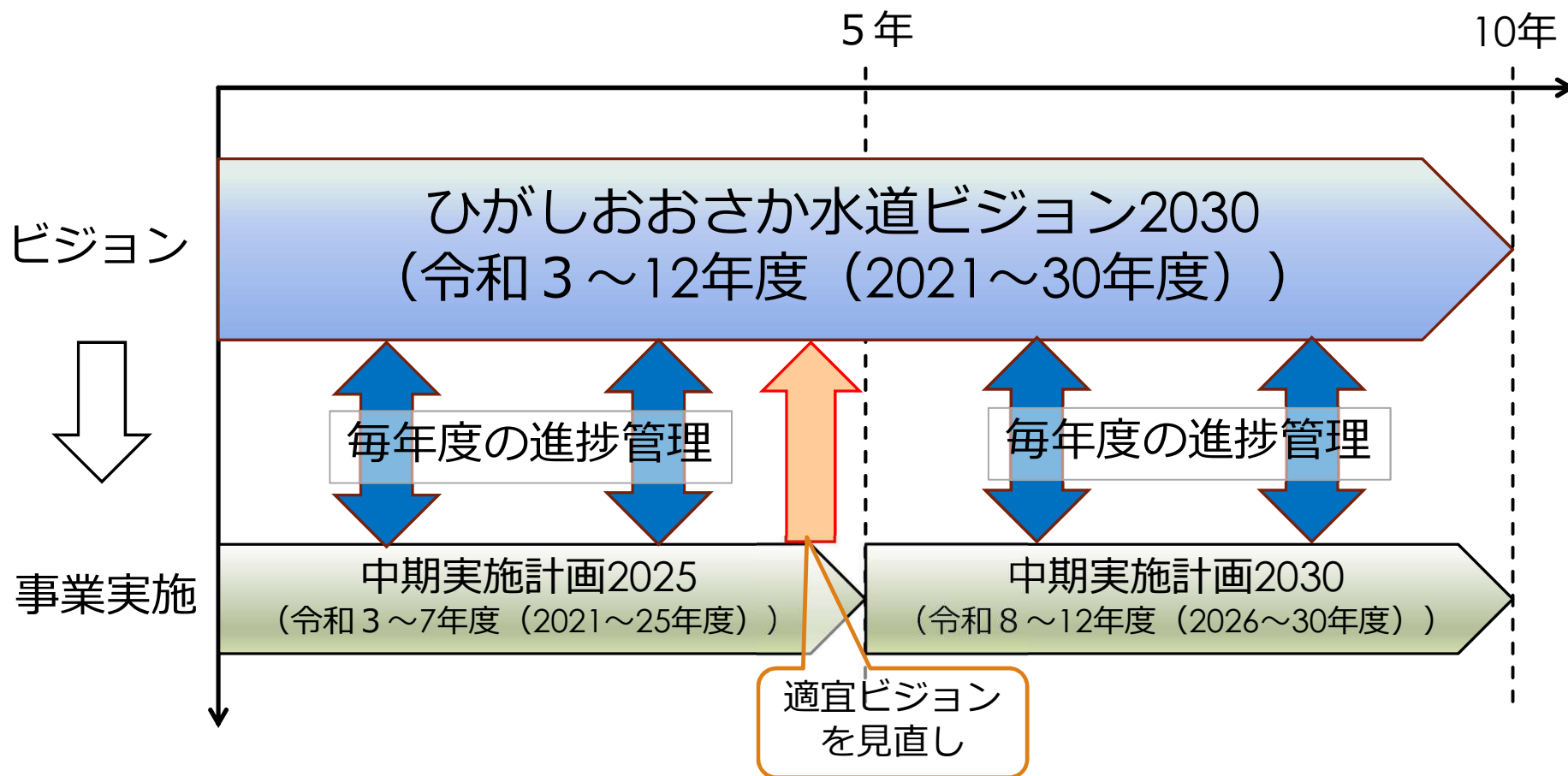
1. 進捗管理の考え方（おさらい）
2. 令和3年度の進捗報告
3. 課題への対応
4. 今後の流れ

2

進捗管理の考え方（おさらい）

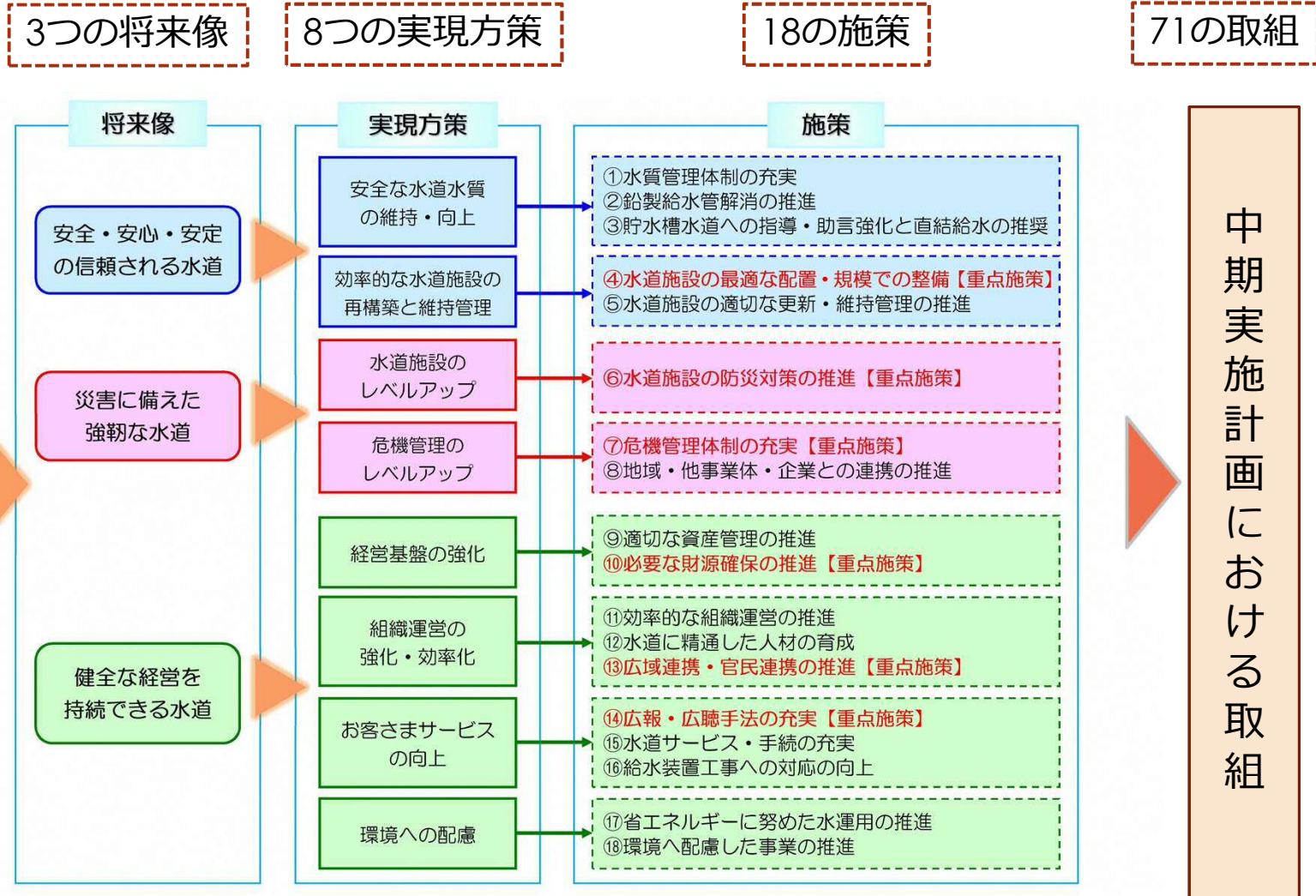
《 水道ビジョン・中期実施計画 》

水道ビジョンの進捗管理の考え方は、実行計画である中期実施計画により進捗管理を行うことで、水道ビジョンで設定した施策を着実に実施します。



進捗管理の考え方（おさらい）

《 施策体系一覧 》



令和3年度の進捗報告

《 1. 令和3年度の進捗管理の総括 》

(1) 令和3年度を取組項目の進捗状況

取組項目	◎	○	△	×
71項目 (うち1件はR6年 度より実施)	36項目 (51.5%)	28項目 (40.0%)	6項目 (8.6%)	0項目 (0%)
(凡例)	数値目標あり	数値目標なし		
◎	100%	予定どおり達成		
○	80%~99%	概ね達成		
△	80%未満	一部達成している が遅れている		
×	0%	未実施		

令和3年度の進捗報告

《 1. 令和3年度の進捗管理の総括 》

(2) 重点施策の主な取り組みについて

重点施策

平成30年12月に実施された水道法改正の趣旨、本市水道事業における重点的な施策推進の必要性、近年の水道事業環境の変化に対する優先度を勘案して、18の施策のうち6つの施策を「重点施策」として位置づけます。

NO.	重点施策内容
施策④	水道施設の最適な配置・規模での整備
施策⑥	水道施設の防災対策の推進
施策⑦	危機管理体制の充実
施策⑩	必要な財源確保の推進
施策⑬	広域連携・官民連携の推進
施策⑭	広報・広聴手法の充実

令和3年度の進捗報告

《 1. 令和3年度の進捗管理の総括 》

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策④ 水道施設の最適な配置・規模での整備

石切高区浄水場の配水池化に向けた整備

(取組No.14)

統廃合を含めた施設の最適配置及びダウンサイジング

(取組No.15)

- ・石切高区浄水場の配水池化を目指して、関係各所と湧水利用停止に向けた協議を実施しました。
- ・管路更新計画に則り、ダウンサイジング可能な箇所は配水本管・支管の縮径を実施しました。

令和3年度の進捗報告

《 1. 令和3年度の進捗管理の総括 》

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策⑥ 水道施設の防災対策の推進

配水池の耐震化（取組No.23）

管路の耐震化（取組No.24）

- ・配水池の耐震化として、五条中区配水池の劣化調査・耐震診断業務の委託を2カ年（債務）で施行しました。（～R4年6月30日）
- ・法定耐用年数を超えた管路の更新・耐震化を優先度を考慮して計画的に実施しました。
- ・令和3年度における管路の耐震管率及び基幹管路の耐震化適合率は目標を達成しました。

令和3年度の進捗報告

《 1. 令和3年度の進捗管理の総括 》

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策⑦ 危機管理体制の充実

危機管理マニュアルの充実（取組No.29） 災害時に必要な資器材の確保（取組No.33）

- ・水道危機管理対応マニュアルについて、機構改革による組織変更に伴う班編成及び特別非常時優先業務について見直しをおこない、市地域防災計画との整合を図ったマニュアルを策定しました。
- ・災害時における事前対策として応急給水機材（消火栓スタンドや飲料水送水ホース等）の購入を行い、災害発生に備えた準備を行い危機管理面での充実を図りました。

令和3年度の進捗報告

《 1. 令和3年度の進捗管理の総括 》

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策⑩ 必要な財源確保の推進

適正な水道料金への見直し（取組No.39）

水道施設の建設・維持管理コストの低減（取組No.42）

- ・第1回上下水道事業経営審議会（令和3年8月開催）において、「水道料金制度のあり方について」諮問を行い、令和3年度に3回の審議を行いました。
- ・他企業との共同施工、耐久性の高い材料の継続使用、低コスト材料・工法の採用及び建設発生土の再利用などによって、水道施設や管路の建設・維持管理コストの縮減を行いました（令和3年度削減効果合計107,293千円）。

令和3年度の進捗報告

《 1. 令和3年度の進捗管理の総括 》

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策⑬ 広域連携・官民連携の推進

大阪府等の広域連携に関する協議会への参画

(取組No.52)

大阪広域水道企業団との統合を含む広域化の検討

(取組No.53)

- ・府域一水道に向けたあり方協議会での検討・協議を行いました。
- ・令和3年度はブロック会議4回、作業部会2回及び専門部会2回へ参加しました。
- ・大阪広域水道企業団との統合検討に関して、令和4年1月6日付けにて覚書（水道事業の統合に向けての検討、協議に関する覚書）を締結するなど広域化に向けた取り組みを行いました。

令和3年度の進捗報告

《 1. 令和3年度の進捗管理の総括 》

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策⑭ 広報・広聴手法の充実

戦略的な情報提供・PRの推進・充実 (取組No.57)

- ・市ウェブサイトのリニューアルに伴い、ウェブサイトコンテンツの整理を行いました。
- ・市民理解が特に必要と思われる内容については市政だよりへ記事を掲載し、SNS媒体による広報についても、広報課と連携し、Twitter、Facebook及びLINEでの広報手段の確立しました。

令和3年度の進捗報告

《 1. 令和3年度の進捗管理の総括 》

(3) 21項目の管理指標（KPI）の実績1

NO.	指標項目	前年度 (R2年実績)	当年度 (R3年実績)	当年度 (R3年計画)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)
1	水質基準不適合率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	水安全計画の運用・ 改善	運用中	運用中	適宜改善	適宜改善	適宜改善
3	鉛製給水管率 (%)	8.0	6.6	7.5	5.5	3.1
4	小規模貯水槽水道点 検率 (%)	---	---	0.0	80.0	100.0
5	配水池調査率 (%)	27.3	63.6	72.7	81.8	81.8
6	管路更新率 (%)	0.68	0.42	0.82	1.00	1.00

令和3年度の進捗報告

《 1. 令和3年度の進捗管理の総括 》

(3) 21項目の管理指標（KPI）の実績2

NO.	指標項目	前年度 (R2年実績)	当年度 (R3年実績)	当年度 (R3年計画)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)
7	有収率 (%)	94.0	95.0	95.0	95.0	95.0
8	配水池の耐震化率 (%)	50.0	50.0	50.0	52.4	52.4
9	管路の耐震管率 (%)	16.4	16.9	16.9	19.9	24.3
10	基幹管路の耐震適合 率 (%)	35.2	49.4	46.4	53.2	65.3
11	重要給水施設配水管 路の耐震適合率 (%)	31.0	29.5	30.9	39.6	54.4
12	料金回収率 (%)	89.9	93.7	—	100.0以上	100.0以上

令和3年度の進捗報告

《 1. 令和3年度の進捗管理の総括 》

(3) 21項目の管理指標（KPI）の実績3

NO.	指標項目	前年度 (R2年実績)	当年度 (R3年実績)	当年度 (R3年計画)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)
13	料金収納率 (%)	99.0	99.1	維持向上	維持向上	維持向上
14	給水収益に対する企業 債残高の割合 (%)	270.7	263.7	350.0以下	350.0以下	350.0以下
15	内部・外部研修時間 (時間/人)	5.1	6.8	5.9以上	13.0以上	16.0以上
16	研究発表会における発 表事例数 (回)	—	2	複数回	複数回	複数回
17	インターネットによる 情報の提供度 (回)	150	282	向上	向上	向上
18	水道に対する満足度 (%)	45.6	47.5	向上	向上	向上

令和3年度の進捗報告

《 1. 令和3年度の進捗管理の総括 》

(3) 21項目の管理指標（K P I）の実績4

NO.	指標項目	前年度 (R2年実績)	当年度 (R3年実績)	当年度 (R3年計画)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)
19	配水量 1 m ³ 当たりの電力消費量 (kWh/m ³)	0.15	0.14	維持・低減	維持・低減	維持・低減
20	建設副産物のリサイクル率 (%)	30.1	100.0	90.0以上	90.0以上	90.0以上
21	再生可能エネルギー利用率 (%)	0.41	0.40	向上	向上	向上

審議会での報告内容

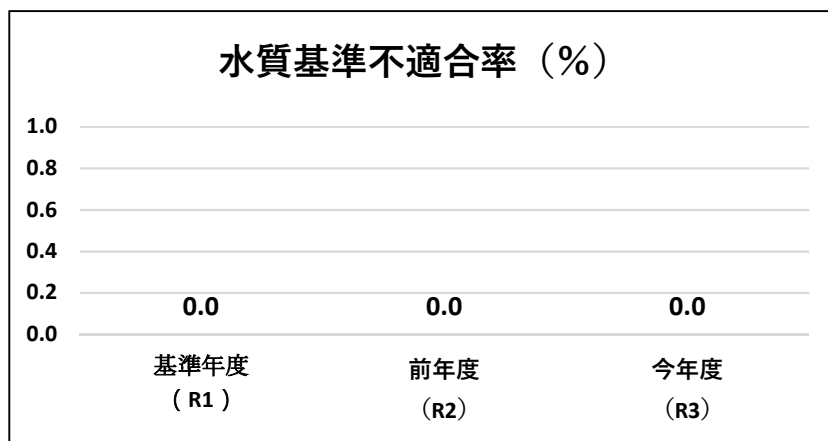
《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標（KPI）による健全経営評価

①水質基準不適合率（%）

計画数値（R03）：0.0%
 中間目標（R07）：0.0%
 最終目標（R12）：0.0%

指標の
優位性



■水質基準不適合率

給水栓での水質基準に対する不適合割合。

◆評価

水質基準に不適合であることはあつてはならないことであるため、今後も0.0%を維持する必要がある。

審議会での報告内容

《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標（KPI）による健全経営評価

②水安全計画の運用・改善

計画数値（R03）：適宜改善
中間目標（R07）：適宜改善
最終目標（R12）：適宜改善

指標の
優位性

—

■水安全計画の運用・改善

水質管理の運用状況に基づく対応措置・方法の改善度合い及び水質基準の改定等の状況変化への対応状況を表す指標。

◆評価

水質基準の改定等の水質に関する状況へ対応するため適宜改善項目となっている。
水安全計画概要版（案）を内容精査し、上下水道局ウェブサイト掲載等で水安全計画を周知及び共有を行う。

審議会での報告内容

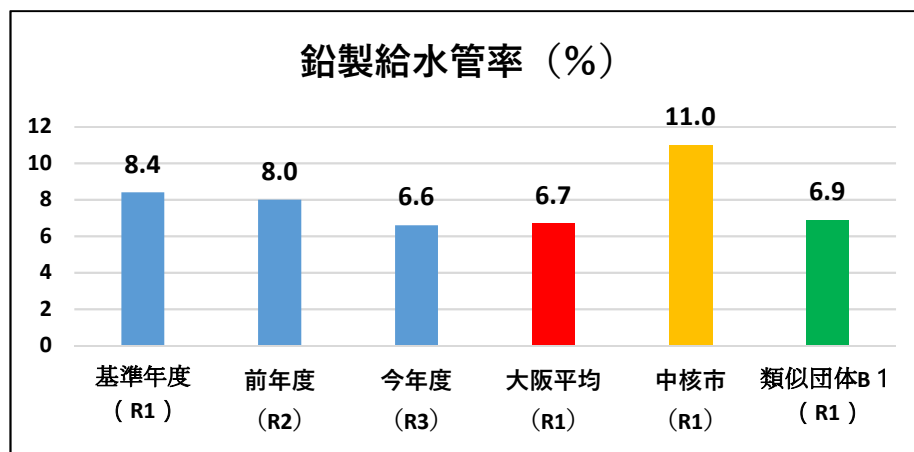
《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標 (KPI) による健全経営評価

③鉛製給水管率 (%)

計画数値 (R03) : 7.5%
 中間目標 (R07) : 5.5%
 最終目標 (R12) : 3.1%

指標の
優位性



■鉛製給水管率 (%)

給水件数に対する鉛製給水管使用件数の割合を示すものであり、鉛製給水管の解消に向けた取組みの進捗度合いを表す指標。

◆評価

令和3年度実績 (目標値)

件数 : 1605件 (611件)

戸数 : 2495戸 (1497戸)

目標以上に布設替等ができたため鉛製給水管率の減少となった。

審議会での報告内容

《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標（KPI）による健全経営評価

④小規模貯水槽水道点検率（%）

計画数値（R03）：0.0%
中間目標（R07）：80.0%
最終目標（R12）：100.0%

指標の
優位性



■小規模貯水槽水道点検率（%）

5年以内に点検を実施した小規模貯水槽水道の件数の割合を示すもので、水道事業としての貯水槽水道への関与度を表す指標。

◆評価

令和3年度では調査段階であり、**R4年度以降に実施の項目**になります。

審議会での報告内容

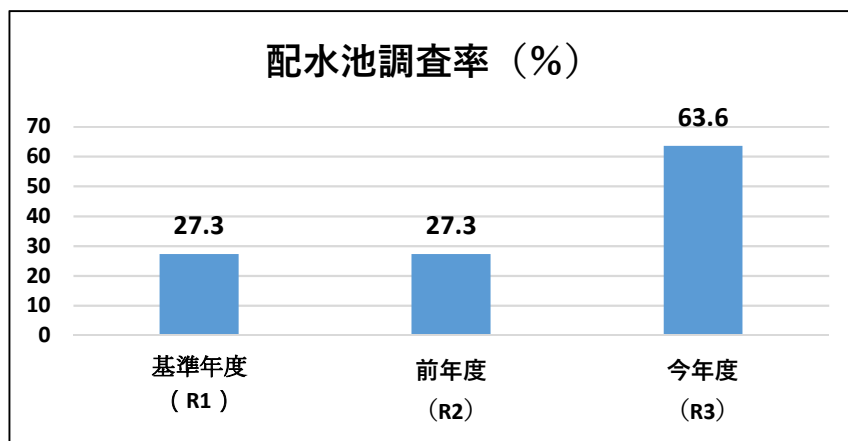
《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標 (KPI) による健全経営評価

⑤配水池調査率 (%)

計画数値 (R03) : 72.7%
中間目標 (R07) : 81.8%
最終目標 (R12) : 81.8%

指標の
優位性



■配水池調査率 (%)

躯体コンクリートの劣化状況を調査した配水池の割合を示すものであり、健全性確保に向けた配水池調査の執行度合いを表す指標。

◆評価

令和3年度においては五条中区配水池耐震診断・劣化調査業務委託について、**入札不調により施行が遅れた**影響により、指標項目 (KPI) の実績が達成できなかった。

審議会での報告内容

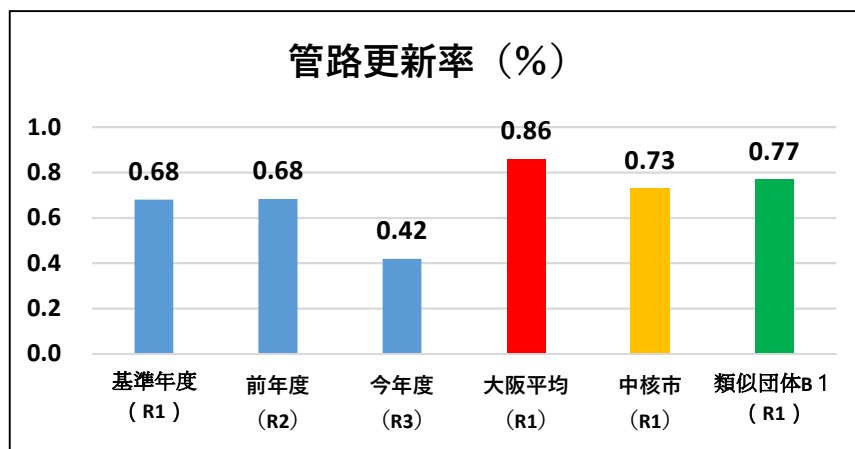
《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標 (KPI) による健全経営評価

⑥ 管路更新率 (%)

計画数値 (R03) : 0.82%
 中間目標 (R07) : 1.00%
 最終目標 (R12) : 1.00%

指標の
優位性



■ 管路更新率 (%)

管路の延長に対する更新された管路延長の割合を示すもので、管路更新の執行度合いを表す指標。

◆ 評価

R3年度の更新延長未達要因は、未整備地域の解消に取り組み、**例年よりも新設管を布設 (1,075m)** したことに加え、**工事を翌年度に繰り越した (約1,620m) ことに起因するもの。**

法定耐用年数を経過した管路は今後も増加していくため、更新延長・更新率の向上に取り組む必要がある。

審議会での報告内容

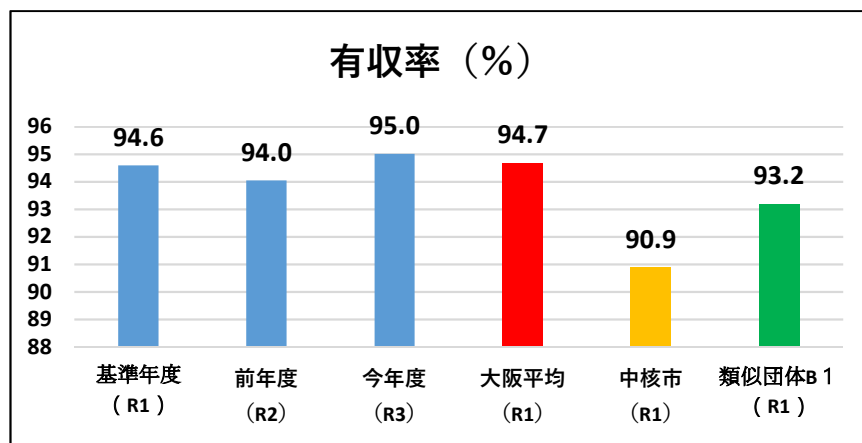
《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標 (KPI) による健全経営評価

⑦有収率 (%)

計画数値 (R03) : 95.0%
 中間目標 (R07) : 95.0%
 最終目標 (R12) : 95.0%

指標の
優位性



■有収率 (%)

年間配水量に対する有収水量の割合を示すもので、水道施設を通して供給される水量がどの程度収益に繋がっているかを表す指標。

◆評価

令和3年度は、4区域（西地区北部・中地区南部・東地区の中区高区）、**管延長569 kmの漏水調査を実施し、196件の漏水を発見し修繕**することで、不明水の減少による有収率の向上を図り、水資源の有効利用や道路陥没等の2次災害の防止に努めた。

（漏水修繕に伴う推定防止量243,352.8m³/年）

審議会での報告内容

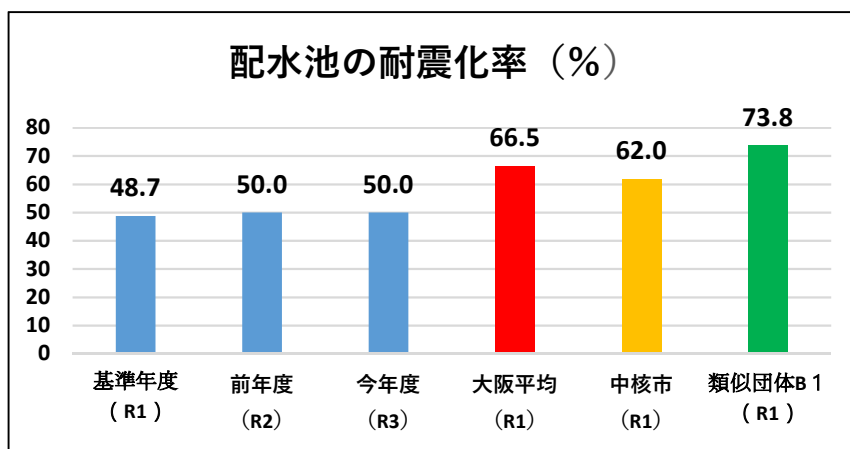
《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標 (KPI) による健全経営評価

⑧配水池の耐震化率 (%)

計画数値 (R03) : 50.0%
 中間目標 (R07) : 52.4%
 最終目標 (R12) : 52.4%

指標の
優位性



■配水池の耐震化率 (%)

全配水池容量に対する耐震対策の施された配水池の容量の割合を示すもので、地震災害に対する配水池の信頼性・安全性を表す指標。

◆評価

五条中区配水池の劣化調査・耐震診断業務委託を2カ年(債務)で施行している。

審議会での報告内容

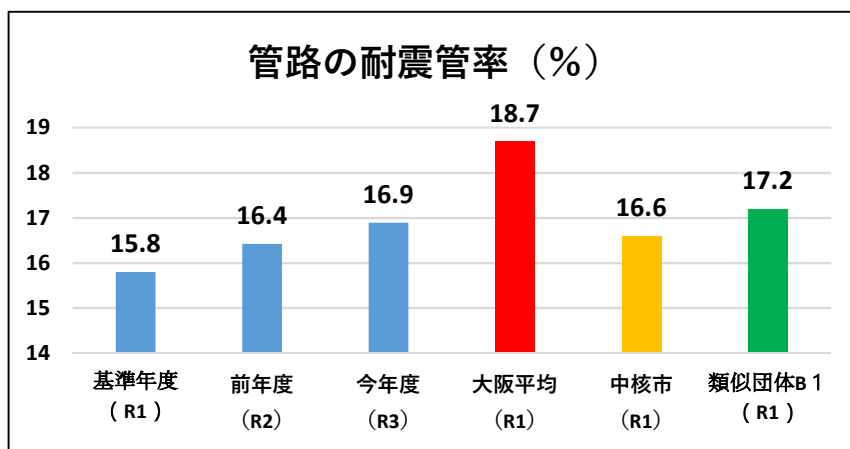
《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標（KPI）による健全経営評価

⑨管路の耐震管率（%）

計画数値（R03）：16.9%
 中間目標（R07）：19.9%
 最終目標（R12）：24.3%

指標の
優位性



■ 管路の耐震管率（%）

全ての管路の延長に対する耐震管延長の割合を示すもので、災害に対する水道管路網の安全性、信頼性を表す指標。

◆ 評価

令和3年度の耐震管率は目標を達成しているが、法定耐用年数を経過した管路は今後も増加していくため、更新延長・更新率の向上に取り組む必要がある。

審議会での報告内容

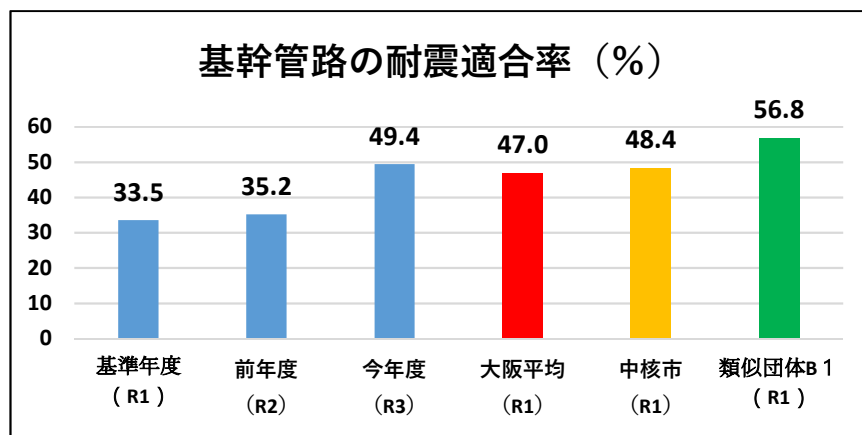
《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標（KPI）による健全経営評価

⑩基幹管路の耐震適合率（%）

計画数値（R03）：46.4%
 中間目標（R07）：53.2%
 最終目標（R12）：65.3%

指標の
優位性



■ 基幹管路の耐震適合率（%）

基幹管路の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、災害に対する基幹管路の安全性、信頼性を表す指標。

◆ 評価

令和3年度においては計画よりも耐震化が進み増加となった。

令和4年度においても計画以上となる見込みである。

審議会での報告内容

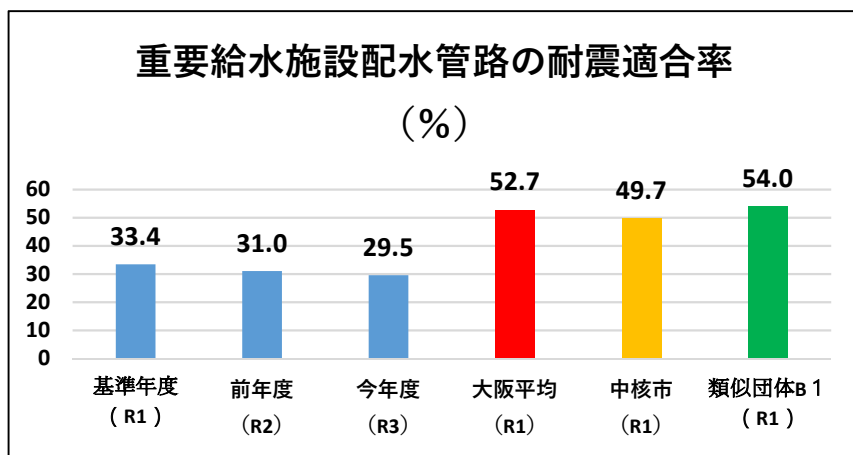
《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標 (KPI) による健全経営評価

⑪重要給水施設配水管路の耐震適合率 (%)

計画数値 (R03) : 30.9%
 中間目標 (R07) : 39.6%
 最終目標 (R12) : 54.4%

指標の
優位性



■重要給水施設配水管路の耐震適合率 (%)

重要給水施設への配水管の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、大規模な地震災害に対する重要給水施設配水管路の安全性、信頼性を表す指標。

◆評価

令和3年度においては**計画を下回る結果となった**。重要給水施設管路は震災時の給水が特に必要な医療機関、避難所等の重要給水施設に供給する重要な管路であるため、積極的な更新に取り組む必要がある。

審議会での報告内容

《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標 (KPI) による健全経営評価

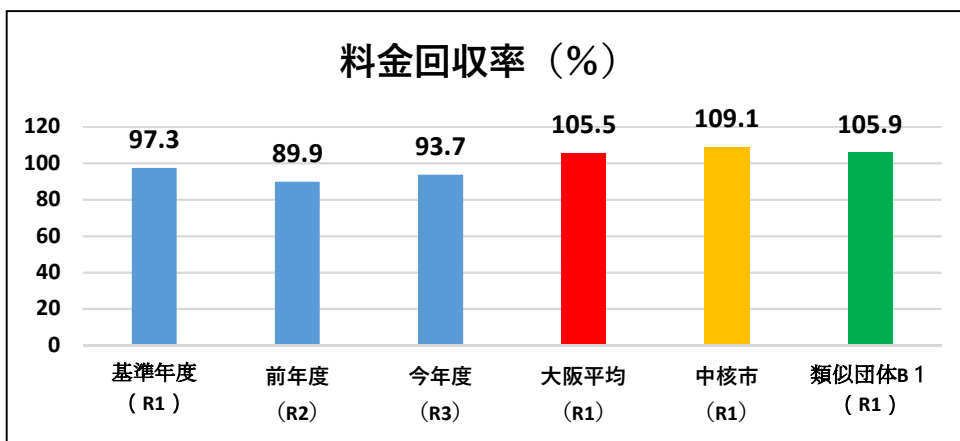
⑫料金回収率 (%)

計画数値 (R03) : 適正な料金水準
料金体系の検討

中間目標 (R07) : 100.0%以上

最終目標 (R12) : 100.0%以上

指標の
優位性



■ 料金回収率 (%)

給水原価に対する供給単価の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す指標。

◆ 評価

料金回収率は100.0%を下回っており給水収益のみでは、原価割れ状態となっている。令和3年度より上下水道事業経営審議会において料金改定についてご審議を頂き、改善に着手している。

審議会での報告内容

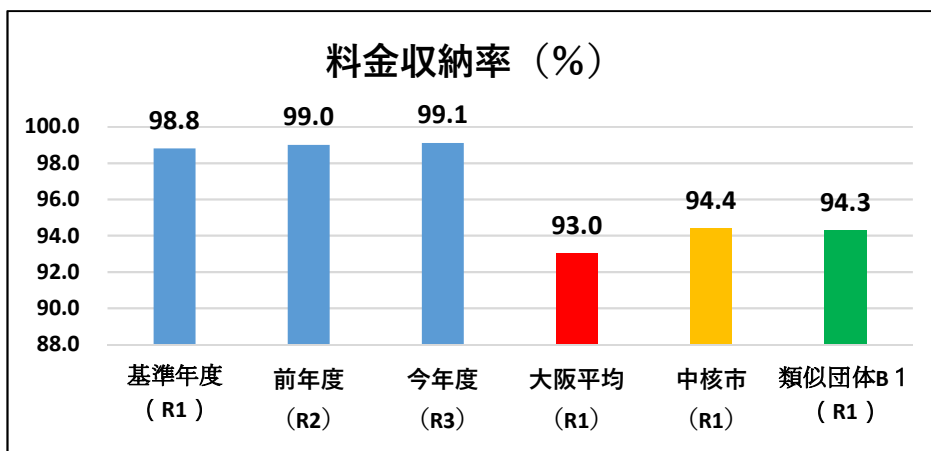
《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標 (KPI) による健全経営評価

⑬料金収納率 (%)

計画数値 (R03) : 維持・向上
 中間目標 (R07) : 維持・向上
 最終目標 (R12) : 維持・向上

指標の
優位性



■料金収納率 (%)

1年間の水道料金総調定額に対して、決算確定時点において納入されている収入額の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す指標。

◆評価

臨戸訪問、早期回収、給水停止による未納対策に加え、架電及び支払誓約書により、未納対策の強化及び滞納額の削減に取り組み料金収納率の向上に努めた。

審議会での報告内容

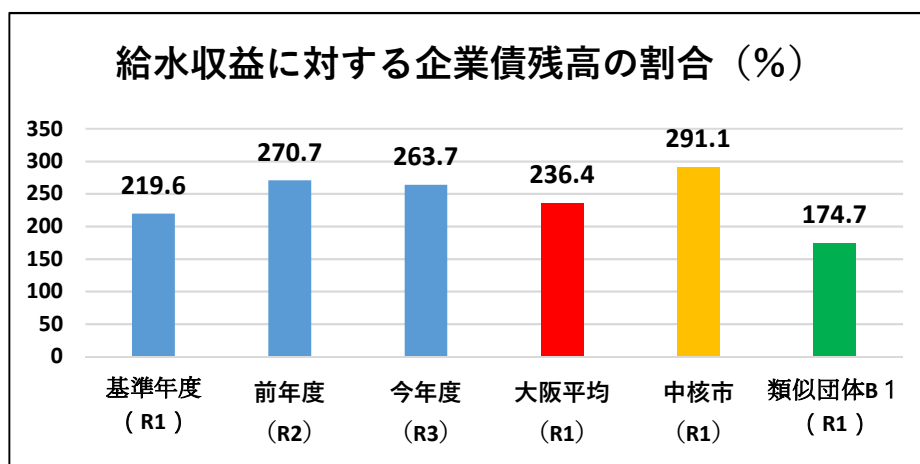
《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標 (KPI) による健全経営評価

⑭ 給水収益に対する企業債残高の割合 (%)

計画数値 (R03) : 350.0%以下
 中間目標 (R07) : 350.0%以下
 最終目標 (R12) : 350.0%以下

指標の
優位性



■ 給水収益に対する企業債残高の割合 (%)

給水収益に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高が規模及び経営に及ぼす影響を表す指標。

◆ 評価

令和3年度は、10億300万円の借入及び約10億2,400万円の償還を行ったことから、給水収益に対する企業債残高の割合は263.7%となり、計画値を達成する結果となった。また、資金残高も50億円を確保することができ、現時点では**一定の水準を維持**できている。

審議会での報告内容

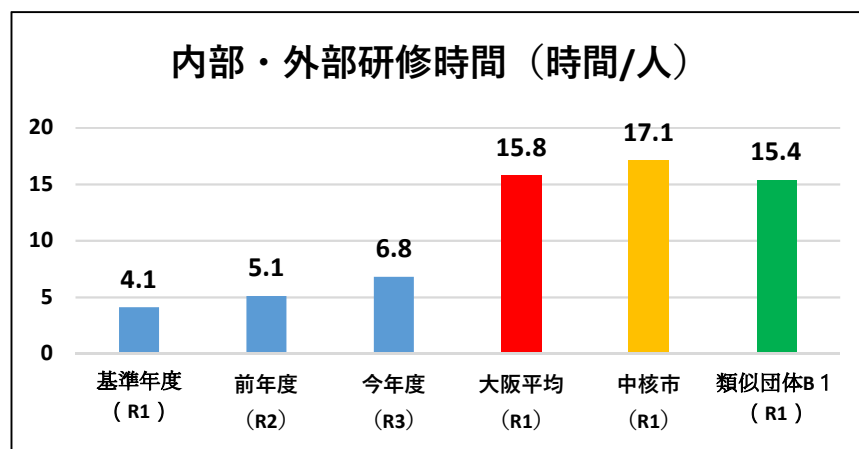
《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標（KPI）による健全経営評価

⑮内部・外部研修時間（時間/人）

計画数値（R03）：5.9以上
 中間目標（R07）：13.0以上
 最終目標（R12）：16.0以上

指標の
優位性



■内部・外部研修時間（時間/人）

職員一人当たりの内部・外部研修の受講時間を表すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表す指標。

◆評価

内部・外部研修時間は大阪平均・中核市・類似団体と比べても低水準であるが、令和3年度においては積極的な研修参加により、**一人当たり研修時間が目標値を超える事ができた。**

審議会での報告内容

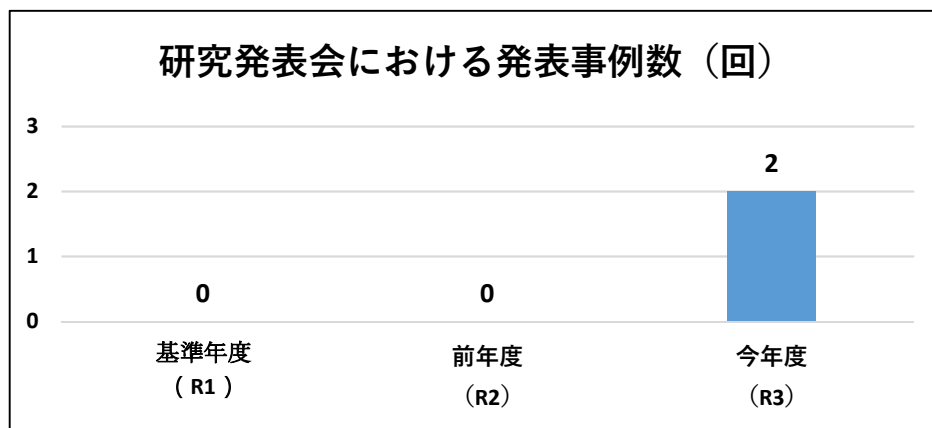
《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標（KPI）による健全経営評価

⑯研究発表会における発表事例数（回）

計画数値（R03）：複数回
 中間目標（R07）：複数回
 最終目標（R12）：複数回

指標の
優位性



■ 研究発表会における発表事例数（回）

日本水道協会等の研究発表会における発表事例数を示すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表す指標。

◆ 評価

令和3年度においては日本水道協会全国大会及び日本水道協会関西支部にて『**東大阪市水走配水場におけるマイクロ水力発電の導入事例**』の研究発表をおこなった。

審議会での報告内容

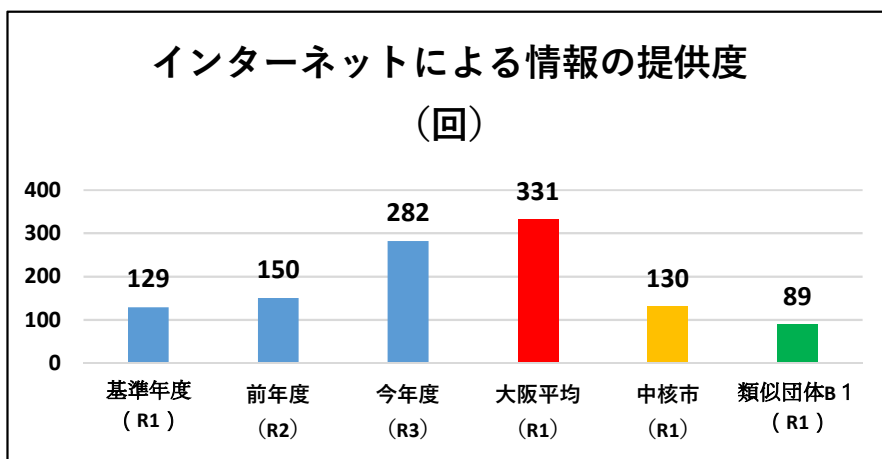
《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標（KPI）による健全経営評価

⑰ インターネットによる情報の提供度（回）

計画数値（R03）：向上
中間目標（R07）：向上
最終目標（R12）：向上

指標の
優位性



■ インターネットによる情報の提供度 (回)

水道事業の情報発信回数を表すもので、お客様への事業内容の公開度合いを表す指標。

◆ 評価

令和3年度においては市ウェブサイトシステムの更新に伴いウェブサイト全体の見直し等改善をおこなった。

また、**市公式SNSを使用した広報についてもTwitter及びLINEによる広報を実施した。**

審議会での報告内容

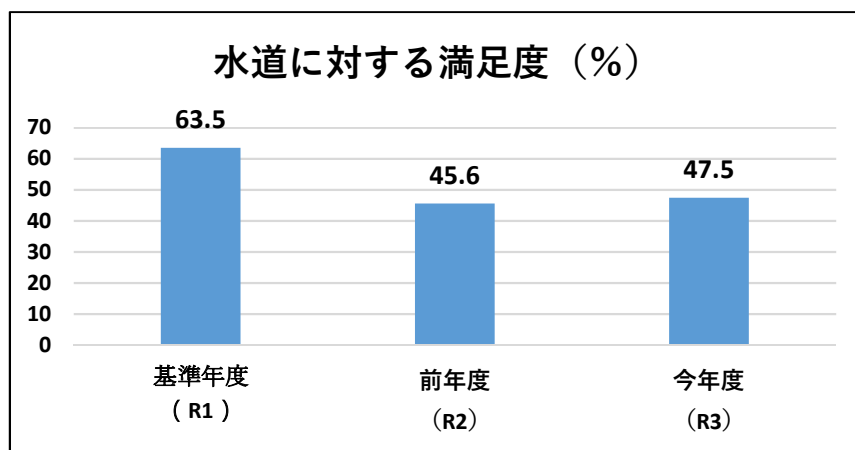
《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標 (KPI) による健全経営評価

⑱水道に対する満足度 (%)

計画数値 (R03) : 向上
中間目標 (R07) : 向上
最終目標 (R12) : 向上

指標の
優位性



■水道に対する満足度 (%)

アンケートで水道に「満足」等と回答した人数割合を示すもので、お客様の満足度を表す指標。

◆評価

令和3年度のアンケートについては市政情報相談課による市政モニターアンケートにより実施。

水道の水質に関するアンケートとなっていたため低い数値となったため、今後の広報手法及びアンケート内容の精査をおこなう。

審議会での報告内容

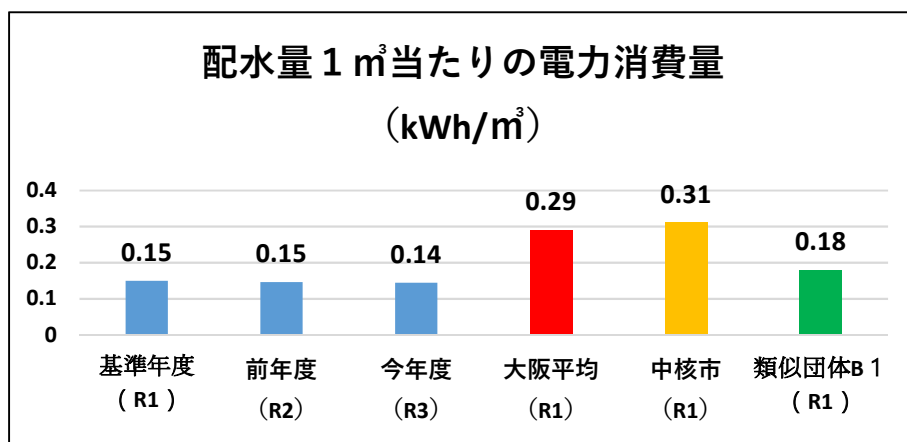
《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標 (KPI) による健全経営評価

⑬配水量1 m³当たりの電力消費量 (kWh/m³)

計画数値 (R03) : 維持・低減
 中間目標 (R07) : 維持・低減
 最終目標 (R12) : 維持・低減

指標の
優位性



■配水量1 m³当たりの電力消費量 (kWh/m³)

配水量1 m³当たりの電力消費量を示すもので、省エネルギー対策への取り組み度合いを表す指標。

◆評価

大阪平均、中核市、類似団体よりも低い水準である。水需要を予測し最適な配水池水位・配水圧力で水運用を行い、次年度以降も維持・低減に努める。

審議会での報告内容

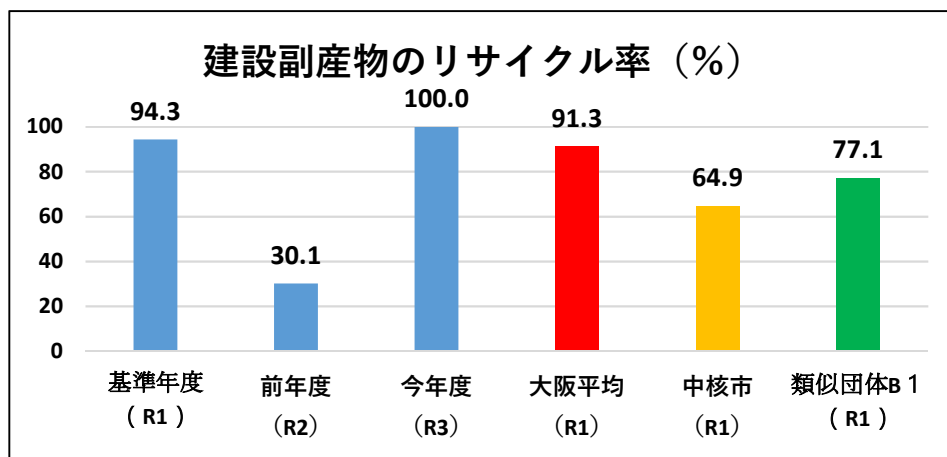
《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標 (KPI) による健全経営評価

⑳建設副産物のリサイクル率 (%)

計画数値 (R03) : 90.0%以上
 中間目標 (R07) : 90.0%以上
 最終目標 (R12) : 90.0%以上

指標の
優位性



■ 建設副産物のリサイクル率 (%)

水道事業における工事などで発生する建設副産物のうち、再資源化（再使用・再生利用）された建設副産物の割合を示すもので、環境保全への取り組み度合いを表す指標。

◆ 評価

水道工事に伴って発生した建設副産物をリサイクル施設への搬入等による有効利用などを行い、令和3年度においては**目標数値を達成し建設副産物のリサイクル率は100%**となった。

審議会での報告内容

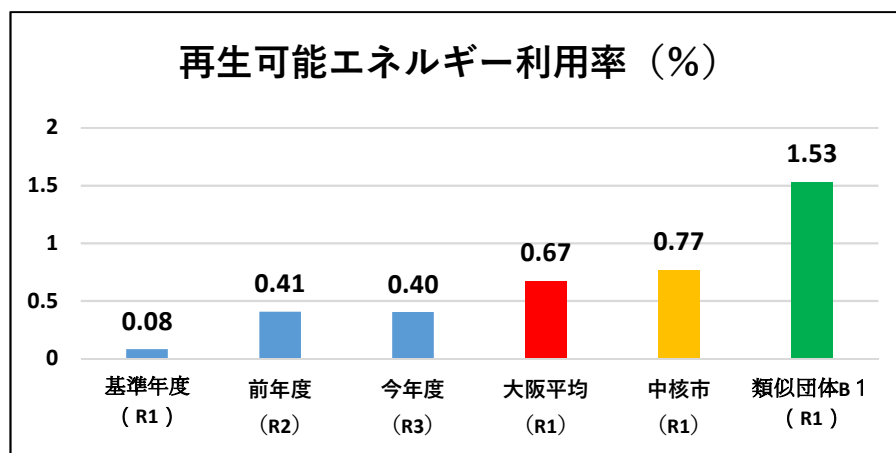
《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(3) 21項目の管理指標 (KPI) による健全経営評価

②再生可能エネルギー利用率 (%)

計画数値 (R03) : 向上
 中間目標 (R07) : 向上
 最終目標 (R12) : 向上

指標の
優位性



■再生可能エネルギー利用率 (%)

全施設の電力消費量に対する再生可能エネルギーの利用の割合を示すもので、環境負荷低減に対する取り組み度合いを表す指標。

◆評価

- ・池島配水場及び上小阪配水場の太陽光発電を継続して運用した。
- ・民間企業による水走配水場のマイクロ水力発電における売電収入の一部を確保した。

課題への対応

《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(2) 18施策にかかる主な課題と今後の対応

令和3年度の取り組みの中で進捗が遅れている又は未実施の施策の今後の対応について

実施状況

項目	遅れている項目	未実施の項目
件数	6	0

課題への対応

《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(2) 18施策にかかる主な課題と今後の対応

令和3年度の取り組みの中で進捗が遅れている又は未実施の施策の今後の対応について

施策③ 貯水槽水道への指導・助言強化と直結給水の推奨

未確認小規模貯水槽水道の調査（取組No.10）

◆主な課題◆

【未確認小規模貯水槽設置有無の調査方法の検討】

調査方法の検討が完了に至っていない。

●今後の対応●

【未確認小規模貯水槽設置有無の調査の実施】

工事に伴う断水作業等に併せた貯水槽の確認に加え、集中した調査実施により令和4年度中に貯水槽設置有無の確認を完了させる。

【調査結果に基づいた、貯水槽台帳データの整備・精度向上】

有無の確認ができた箇所について、情報を整理・蓄積し、点検に向けた基礎資料とする。

課題への対応

《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(2) 18施策にかかる主な課題と今後の対応

令和3年度の取り組みの中で進捗が遅れている又は未実施の施策の今後の対応について

施策④ 水道施設の最適な配置・規模での整備【重点施策】

統廃合を含めた施設の最適配置及びダウンサイジング
(取組No.15)

◆主な課題◆

【（仮称）南部中継ポンプ場の用地取得協議及び入水分岐協議】
建設場所の決定を目標としていたが決定に至らなかった。

●今後の対応●

建設場所の決定ができなかったため、関係各所と用地取得協議を実施し、建設場所を決定する。

また、引き続き（仮称）南部中継ポンプ場建設工事の実施に向けた事前協議を行う。

課題への対応

《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(2) 18施策にかかる主な課題と今後の対応

令和3年度の取り組みの中で進捗が遅れている又は未実施の施策の今後の対応について

施策⑤ 水道施設の適切な更新・維持管理の推進

計画的な管路の更新・保全（取組No.19）

◆主な課題◆

【管路更新率の段階的な引き上げ】

令和3年度 実績値0.42% 目標値0.82%

●今後の対応●

R 4年度管路布設延長目標を約8,700mとして工事を実施する。

また、管路工事発注のペースアップ・施工体制及び工事品質の確保に向けて調査研究を行い管路更新率の引き上げを図る。

課題への対応

《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(2) 18施策にかかる主な課題と今後の対応

令和3年度の取り組みの中で進捗が遅れている又は未実施の施策の今後の対応について

施策⑦ 危機管理体制の充実【重点施策】

災害対策研修・訓練の実施（取組No.31）

◆主な課題◆

【応急給水訓練の実施及び危機管理マニュアル研修の実施】

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い令和3年度については訓練の中止が相次ぐ形となり、訓練の実施回数が0回となった。

●今後の対応●

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視しつつ、訓練の内容及び開催方法の検討を行い開催する。

また、他団体等との合同訓練についても開催を検討する。

課題への対応

《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(2) 18施策にかかる主な課題と今後の対応

令和3年度の取り組みの中で進捗が遅れている又は未実施の施策の今後の対応について

施策⑩ 必要な財源確保の推進【重点施策】

保有資産の有効活用（未利用地の使用許可、貸付、売却等）（取組No.41）

◆主な課題◆

【保有資産の有効活用（未利用地の使用許可、貸付、売却等）】
売却可能な施設について、関係部署等との調整を進めたが、諸課題が解決できておらず売却には至らなかった。

●今後の対応●

貸付けできる施設については、引き続き貸付けをおこない、また、売却可能な施設については、関係部署等と調整を継続する。

課題への対応

《 2. 令和3年度における取組の進捗状況と課題への対応 》

(2) 18施策にかかる主な課題と今後の対応

令和3年度の取り組みの中で進捗が遅れている又は未実施の施策の今後の対応について

施策⑮ 水道サービス・手続の充実

検針業務等を通じた地域活動等との連携の推進
(取組No.63)

◆主な課題◆

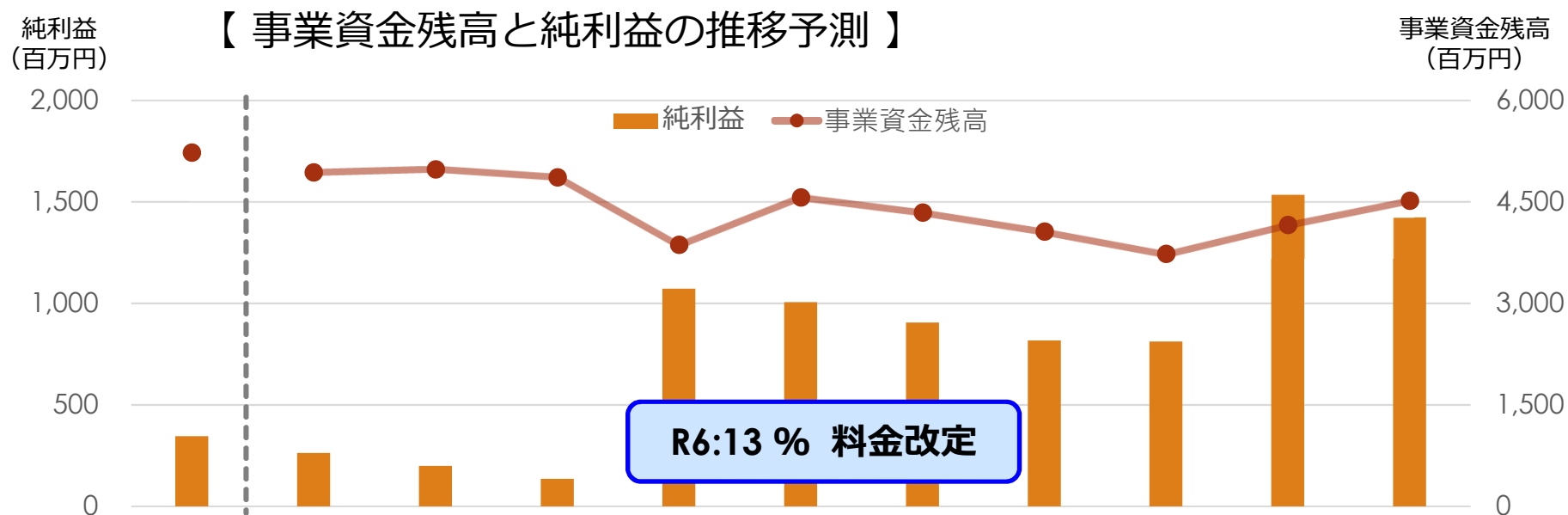
【「SOSオレンジネットワーク（認知症高齢者見守りネット）」への登録】
検針業務委託業者との協議については行っているが登録に至っていない。

●今後の対応●

個人情報等の課題整理が必要であるため引き続き検討を行う。

審議会での報告内容

《 3. 水道ビジョンに基づく財政状況のフォローアップ 》



	R3 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)	R7 (計画)	R8 (計画)	R9 (計画)	R10 (計画)	R11 (計画)	R12 (計画)
事業資金 残高	5,224	4,931	4,980	4,863	3,866	4,565	4,340	4,059	3,731	4,159	4,517
純利益	345	262	198	135	1,072	1,005	905	817	811	1,535	1,423
備考	現状	計画最初									計画最終

水道ビジョンに基づく計画期間

審議会での報告内容

《 3. 水道ビジョンに基づく財政状況のフォローアップ 》

1. 現状における財政状況

- 事業資金残高は、令和3年度決算において52億円の資金残高を確保しており、黒字決算であることから一定の健全経営を確保しています。
- しかし、事業の根幹収入である水道料金収入は減少傾向で、供給単価が給水原価を下回る状況が続く中でも老朽化施設の更新等が必要であり、厳しい経営状況が続いています。

2. 水道ビジョン計画期間中における財政状況

- 料金改定を行わなかった場合、令和7年度に収益的収支が赤字となることが見込まれます。
- 令和6年度に料金改定を行うことで、計画期間中の黒字決算および目標とする資金残高を維持します。

審議会での報告内容

《 4. 令和3年度の進捗管理のまとめ 》

(4) まとめ

令和3年度は、ビジョン及び中期実施計画の初年度として各取組を概ね順調に推進しました。

一部取り組みに関しては進捗が遅れている部分がございますが最終目標（R12年）を達成できるよう、本審議会での意見等も参考に進捗管理を行い将来に向かって健全なサービスの持続を行ってまいります。

東大阪市上下水道事業経営審議会 における評価及び意見

【審議会からの評価】

【審議会からの意見】

今後の流れ

《 進捗管理の流れ 》

各取組に対する局内での進捗評価を決定後、経営審議会にて報告します。審議会での意見等を、進捗評価や次年度の取組策定に反映させます。

当初計画	実際の流れ	内容
前年度	前年度	中期実施計画に掲げる取組等を実施
当年度6～7月	当年度6～7月	局内での進捗評価を決定
当年度8月	当年度10月	経営審議会 (決算報告・進捗管理報告に係る意見等)
当年度9月	当年度10～11月	進捗評価の確定
当年度10～1月	当年度10～1月	次年度の予算編成作業
当年度3月	当年度3月	次年度の取組策定